論　文

山口県萩市におけるスポーツ推進計画策定を目指した スポーツ活動に関するアンケート調査用紙の作成

○村本名史*1　藤原亮治*2　山根真紀*3

キーワード：山口県萩市、スポーツ推進計画、スポーツ活動調査

1　諸言

スポーツは人類共通の文化であり、その適切な実施によって健全な心身を育み、観衆にも大きな感動や楽しみを与えることができる。また、スポーツの普及は活力に満ちた明るい社会の形成に期待でき、オリンピックを含めた国際大会の実施は国際社会の調和などにも貢献しているだろう。

我が国のスポーツ振興について、文部科学省は平成22年8月に今後の約10年におけるスポーツ政策の基本的方向性を「スポーツ立国戦略」として発表した[1)]。これは、する・観る・支える（育てる）という人の重視、トップスポーツと地域スポーツまたは社会全体でスポーツを支える基盤の整備という連携・協働の推進を基本的な考え方としている。この戦略実現のため、昭和36年に公布された「スポーツ振興法」が50年ぶりに「スポーツ基本法」へ平成23年6月に改正された。この法の中では国または地方公共団体という行政の責務やスポーツ団体の努力が明示され、スポーツに関する施策の基本事項が定められた[2)]。この基本法に基づき平成24年3月に「スポーツ基本計画」が策定された。この計画は、年齢・性別・障害等に関わらず人々が関心・適性等に応じてスポーツに参画することを基本的政策課題とし、各課題について目標を設定するものであった[3)]。

一方、平成23年に国民体育大会開催を控えていた山口県は、社会経済情勢やスポーツを取り巻く環境の変化によるニーズの広がりに対応するため、スポーツの振興を総合的かつ計画的に推進するための基本指針である山口県スポーツ振興計画「スポーツやまぐち　きらめきプラン」を平成13年に策定した[4)]。山口県内では、周南市が「元気しゅうなんスポーツプラン」とするスポーツ振興計画を平成19年に発表し、基本施策の中で①スポーツを楽しむ環境づくり、②子どもの体力づくり、③スポーツを極める人づくりの3点について方針を打ち出した[5)]。また宇部市は、平成23年にスポーツ振興計画である「輝け元気スポーツプラン」を発表し、基本方針と基本施策の中で①スポーツを楽しむ「元気なひと」づくりと②スポーツによる「元気なまち」づくりを項目に挙げ、青少年のスポーツ活動の充実やスポーツによる「地域」交流の促進等について計画を明らかにした[6)]。さらに、山口市は平成24年に「スポーツ活動に関するアンケート」を実施し、市民の健康や体力についての意識、スポーツに対する関心や活動状況等について調査している[7)]。その結果を考慮して「山口市スポーツ推進計画骨子（案）」を作成し、「全市民が気軽にスポーツに親しみ、スポーツが文化として定着することを目指して」という計画の基本理念を定めた[8)]。

一方、萩市では平成24年に「萩市健康福祉計画」を改訂し、地域福祉、次世代育成支援、障がい福祉、高齢者保健福祉、介護保険事業、健康はぎ21保健計画、食育推進計画、地域リハビリテーション構想の各分野

*1 山口福祉文化大学ライフデザイン学部
*2 下関短期大学保育学科
*3 至学館大学短期大学部

について計画を発表した[9]。しかし、この計画の中ではスポーツを含めた身体活動について詳述されておらず、萩市住民のスポーツ活動に関する要望を反映した健康施策を実施するには十分とは言えない計画であった。そこで萩市は、市民が生涯にわたって主体的にスポーツ活動を行うこと、さらにはスポーツを通しての地域振興も視野に入れ、市と市民が協働して取り組める独自の推進計画を策定するためのアンケート調査を計画した[10]。アンケートの調査項目をどのようなものにするかは、スポーツ推進計画の内容に大きく影響するために慎重な検討が必要である。

そこで本研究は、萩市におけるスポーツ推進計画を策定するため、これまでに他地域で実施されたスポーツに関するアンケート調査の内容等を比較・検討することにより、萩市民を対象としたスポーツ活動に関するアンケート調査用紙を作成することを目的とした。

2 方法

1）対象

アンケートの質問数が 18 から 34 であった山口県の周南市[5]、宇部市[6]および山口市[7,11]、広島県三原市[12]、愛知県美浜町[13]、新潟県南魚沼市[14]という 6 つの地域において、一般住民を対象に実施されたスポーツに関するアンケート調査を比較の対象とした。

2）比較項目

調査名、調査者、調査年月、調査対象（年齢含む）、調査方法、回答数（男女数含む）、回収率、質問数、調査用紙量および調査内容について比較を行った。

3）予備調査

作成したスポーツ活動調査用紙案を使用して、成人男性 3 名、女性 1 名について予備調査を実施し、調査用紙記入時間を計測し、調査に対する感想を聞いた。

3 結果

1） 調査名、調査者および調査年月

調査名、調査者および調査年月は表 1 の通りであった。

表 1　スポーツ活動に関する調査名、調査者および調査年月

調査名	調査者	調査年月
周南市スポーツに関する市民意識調査	周南市教育委員会市民スポーツ課	平成 18 年 2 月 20 日 ～3 月 13 日
宇部市のスポーツ振興計画策定に係るアンケート調査	宇部市総合政策部スポーツ振興課	平成 22 年 9 月 10 日 ～9 月 31 日
山口市民のスポーツ活動に関するアンケート調査	山口市地域振興部生涯学習・スポーツ振興課	平成 24 年 2 月 3 日 ～2 月 24 日
三原市スポーツに関する市民アンケート	広島県三原市教育委員会スポーツ振興課	平成 18 年 10 月 30 日 ～11 月 10 日
美浜町民の運動・スポーツ活動に関する実施調査	愛知県美浜町教育委員会、 日本福祉大学スポーツ教育センター	平成 21 年 10 月 29 日 ～11 月 27 日
スポーツに関する市民アンケート調査	新潟県南魚沼市教育委員会	平成 22 年 10 月 22 日 ～ 11 月 19 日

2）調査対象および調査方法

調査対象は全て 18 歳以上であり、17 歳以下を対象としたアンケート調査は本研究の対象としていない。美浜町は 30 歳以上、南魚沼市は 20 歳以上であり、他の 4 市町は 18 歳以上を調査対象としていた。

調査方法について、美浜町のみ 3 つのイベント参加者および体育館利用者への直接配布または父母への学校配布による調査を実施しており、他の市町は郵送による調査用紙の配布と回収という方法を用いていた。

表 2　スポーツ活動に関する調査対象および調査方法

調査対象地域	調査対象	調査方法
山口県周南市	無作為抽出による 18 歳以上の市民 1700 人	郵送
山口県宇部市	宇部市全域の 18 歳以上の 3000 人	郵送
山口県山口市	山口市在住の 18 歳以上の 3033 人（層化抽出）	郵送
広島県三原市	18 歳以上の 2000 人	郵送
愛知県美浜町	美浜町に居住する満 20 歳以上の男女	女性フォーラム参加者・ 産業まつり参加者・ 寿大学参加者・ 総合体育館利用者へ直接配布 町内小中学校の父母へ学校配布
新潟県南魚沼市	2000 人 （地域別、20-70 歳代の年代別、男女別の無作為抽出）	郵送

3）　回答数および回収率

全回答数（有効回収数）、男性回答数、女性回答数および有効回収率は表 3 の通りであった。回収率は山口県内が 30%代（32.1～36.9%）であったのに対し、三原市では 49.0%、南魚沼市は 51.9%と高値であった。美浜町はイベントにおける調査であったために回収率は算出されていないが、対面式の調査であったために回収率は高かったことが推測できる。

表 3　スポーツ活動に関する調査における回答数および回答率

調査対象地域	全回答数（人）	男性回答数（人）	女性回答数（人）	回収率（%）
山口県周南市	545	218	326	32.1
山口県宇部市	996	384	608	33.2
山口県山口市	1106	517	569	36.9
広島県三原市	980	441	513	49.0
愛知県美浜町	2473	967	1506	−
新潟県南魚沼市	1037	507	530	51.9

4）質問数、調査用紙量および調査内容

質問数は自由記述欄も含めた。ただし、SQ（sub question）といった副設問は質問数に数えておらず、SQ 数および副設問数は表 4 内に記入した。調査用紙量は印刷された用紙を B5 または A4 サイズとし、案内文または回答用紙も含めて計算している。

表４　スポーツ活動に関する調査における質問数、調査用紙量および調査内容

調査対象地域	質問数	調査用紙量（枚）	内容
山口県周南市	18	5 （案内、回答用紙含む）	①年齢、性別、職業、居住地区 ②スポーツ好嫌度 ③スポーツ実施状況 ④スポーツの目的 ⑤将来のスポーツ活動 ⑥スポーツへの抵抗条件 ⑦スポーツ大会等へのボランティア参加 ⑧総合型地域スポーツクラブ ⑨スポーツの指導希望 ⑩市のスポーツイベントへの参加経験 ⑪スポーツイベントへの要望 ⑫整備してほしいスポーツ施設 ⑬観てみたい全国規模のスポーツ大会
山口県宇部市	25	4 （案内文含む）	①性別、年齢、職業、帰宅時刻、休日、健康 ②スポーツ・レクリエーションや運動 ③スポーツ観戦 ④公共スポーツ施設の管理・運営への要望 ⑤スポーツ振興への要望 ⑥総合型地域スポーツクラブ
山口県山口市	29 （SQ12 を含まず）	16 （案内文含む）	①性別、年齢、居住地域、職業 ②健康、体力、運動不足、ストレス、体型 ③スポーツ活動 ④スポーツクラブや同好会 ⑤スポーツ観戦 ⑥障がい者のスポーツ振興 ⑦スポーツ大会へのボランティア参加 ⑧総合型地域スポーツクラブ ⑨スポーツ情報 ⑩山口国体、全国障害者大会の市への影響 ⑪公共スポーツ施設の利用 ⑫市主催のスポーツ大会 ⑬健康や生活への満足度 ⑭スポーツに対する考え方 ⑮市のスポーツ活動推進
広島県三原市	34 （副問 18 を含まず）	16 （案内文含む）	①健康、体力、生きがい ②スポーツや運動に対する意識 ③スポーツや運動の実施状況 ④公共スポーツ施設 ⑤学校体育施設 ⑥これからのスポーツや運動 ⑦性別、年齢、職種、居住地区
愛知県美浜町	23	4 （案内文含む）	①健康・体力に関する意識 ②運動・スポーツの実施状況 ③公共施設の充実度と利用状況 ④スポーツクラブや同好会の加入状況 ⑤総合型地域スポーツクラブ
新潟県南魚沼市	33 （副問 1 を含まず）	8 （案内文含む）	①スポーツの実施状況 ②総合型地域スポーツクラブ ③スポーツ観戦 ④充実して欲しいスポーツと施設 ⑤スポーツ行政（情報、振興、都市像）に関する要望 ⑥子どもに希望するスポーツとその障害 ⑦スポーツ行事やスポーツ教室の感想 ⑧過去のスポーツ経験 ⑨スポーツ指導者としての成功例、課題、要望

5）予備調査

作成したスポーツ活動調査用紙案を使用して、調査用紙記入時間を計測した結果、13分35秒±5分49秒（平均±標準偏差）であった。なお、記入時間の最短は8分30秒、最長は18分55秒であった。自由記述欄に多く記入する場合、記入時間が長くなる傾向があった。調査用紙について、記入を見落としやすい箇所があることが判明したため、設問部分を太字にして目立つようにした。また、必要ない文字も見付かったために削除することができた。

4 考察

1）日本におけるこれまでのスポーツ関係法

日本国憲法の条文ではスポーツについて言及されていないが、1947年に制定された学校教育法では体育と部活動のスポーツが規定されている。社会教育法（1949年）では社会教育活動の中に体育およびレクリエーションを含め、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律（1990年）では生涯学習の対象としての学校教育および社会教育に関わる学習の中に体育が含められた[15]。その後、2006年に教育基本法が全面改正され、2012年完全実施の中学校の新学習指導要領で1～2年生の保健体育に武道が必修となった。

2）スポーツ立国戦略からスポーツ基本計画へ

文部科学省は平成22年に「スポーツ立国戦略」を発表したが、この中では①ライフステージに応じたスポーツ機会の創造、②世界で競い合うトップアスリートの育成・強化、③スポーツ界の連携・協働による「好循環」の創出、④スポーツ界における透明性や公平・公正性の向上、⑤社会全体でスポーツを支える基盤の整備を重点戦略として掲げ、国として法制度・税制・組織・財源などの体制整備へ取り組むことが明らかにされた[1]。

この戦略実現のために「スポーツ基本法」が平成23年に公布されたが、この前文で「スポーツは、世界共通の人類の文化」であり、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であることが述べられ、スポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性が述べられている。さらに、地域スポーツおよび障害者・プロのスポーツの推進、国際関係、ドーピング防止、紛争の解決、国内外の情報収集、学校体育、スポーツ産業、国際交流、優秀選手の育成、国際大会の招致・支援、企業・大学スポーツの支援、スポーツ推進会議などの内容が「スポーツ振興法」から加えられ、スポーツの推進に関する基本的な計画（スポーツ基本計画）を定めることも明示されている[2]。

平成24年に策定された「スポーツ基本計画」では、①子どものスポーツ機会の充実、②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備、④国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備、⑤オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会の招致・開催等を通じた国際貢献・交流の推進、⑥スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上、⑦スポーツ界の好循環の創出を課題とし、各課題について政策目標を掲げて解決のための具体的項目を挙げている。加えて、施策の総合的・計画的な推進のために、①国民の理解と参加の推進、②関係者の連携・協働による計画的・一体的推進、③スポーツの推進のための財源の確保と効率的・効果的な活用、④計画の進捗状況の検証と計画の見直しを必要な事項としている[3]。

3）国民体育大会と地域スポーツの普及

山口県では平成23年に国民体育大会および全国障害者スポーツ大会が開催されたため、現在の山口県におけるスポーツ推進には「ポスト国体」という国体後どのように様々な人々のスポーツ活動を発展させ、スポーツを普及していくかという課題がある。平成22年に国体を開催した千葉県は、国体の成果として①ボランティアで運営にかかわったり、県外から多くの人々を迎えた地域の人々の間に、地域でスポーツを支

えるという意識が生まれ、②地域の気運や盛り上がりを「体育スポーツ振興条例」という形で集約、制定したという2点を挙げている。また、平成24年に国体を実施した岐阜県は、現場からの自主的な提案を実現できるようにサポートすることにより、国体後の地域づくり、地域の再生、防災対策などに役立つことを期待している。平成26年に国体を控えている長崎県は、2巡目の国体をスポーツの歴史を未来へつないでいく契機として捉えており、スポーツ施設の整備やスポーツ指導者の養成によって地域スポーツクラブも加わった新たなスポーツ環境の育成を見込んでいる[16]。

4）山口県におけるスポーツ推進計画

山口県は、平成24年3月に「山口県スポーツ推進条例」を制定した[17]。これは、山口国体の成果を一過性のものとせず、県民誰もがスポーツを楽しみ、支える活動に参画することを通じて、健康で心豊かな生活と活力ある地域社会の実現につなげていくため、スポーツ施策の総合的・戦略的な推進を図ることを目的にスポーツ推進の指針となる基本理念を盛り込んだものである。この条例に示される基本理念等を踏まえ、施策の方向性を示す「山口県スポーツ戦力プラン」が平成24年3月に発表された[18]。この中では①生涯スポーツ推進、②競技スポーツ推進、③スポーツ環境整備という3つの戦略が示され、この戦略を実現するために、生涯スポーツ・健康及び体力づくりの推進、障害者スポーツの推進、子どもの体力の向上及び学校体育等の充実、スポーツ選手の計画的な育成、競技環境の整備、スポーツ医・科学の活用、スポーツを通じた地域づくり・県民運動の促進、スポーツ団体及び企業によるスポーツの促進、施設の整備及び利用という9つの取り組みが具体的に挙げられた。

5）山口県萩市におけるスポーツ推進計画

萩市は、「スポーツ基本法」に基づいて文部科学省の「スポーツ基本計画」、「山口県スポーツ推進条例」、「山口県スポーツ戦略プラン」の方向性を踏まえた「萩市スポーツ推進計画（仮称）」の策定を目指して、平成24年10月に第1回会議を開催した[19]。そこでは、市民がスポーツに関心を持ち、スポーツ活動に親しむことで心身の健全な発達を図り、明るく豊かな市民生活が送れるよう取り組むため、市民の健康や体力についての意識、スポーツに対する関心や活動状況を調査するためのアンケートが企画された。この会議で提示されたアンケート調査案は、表1から4までの他地域で実施されたアンケート調査を検討し、萩市の地域特性を考慮したものであった。その内容は以下の通りである。調査名：萩市民のスポーツ活動調査について、調査者：萩市、調査年月：平成24年11月、調査対象：萩市在住の20歳以上である1500人（無作為抽出）、調査方法：郵送、質問数：33（自由記述欄含む、副設問なし）、調査用紙量：A4用紙8枚（案内文含む）であった。なお、調査内容は①性別、年齢、居住地域、職業、②健康、体力、運動不足、精神的疲労、ストレス、肥満、③スポーツ活動の現状と予定、スポーツ実施状況への感想、スポーツ活動実施条件、スポーツ活動頻度、実施スポーツ種目、スポーツの実施と不実施の理由、④スポーツクラブや同好会の形態と種目、⑤スポーツ観戦とその種目・頻度、⑥障がい者のスポーツ振興、⑦スポーツ情報、⑧公共スポーツ施設の利用、⑨市が支援するスポーツ大会、⑩自分の健康や生活、⑪スポーツの価値、⑫スポーツ活動推進に必要な施策であった。

5 結論

「スポーツ基本法」、「スポーツ基本計画」、「山口県スポーツ推進条例」および「山口県スポーツ戦略プラン」に基づいた萩市におけるスポーツ推進計画を策定するため、他地域で実施されたスポーツに関するアンケート調査について比較し検討を行った。その結果、萩市民へのスポーツ活動に関するアンケート調査について、調査対象：萩市在住の20歳以上である1500人、

調査方法：郵送、質問数：33、調査用紙量：A4 用紙 8 枚、調査内容：調査対象者情報からスポーツ推進施策におよぶ 12 分野という形にまとめた。

引用・参考文献

1）文部科学省；スポーツ立国戦略，http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm，2010

2）文部科学省；スポーツ基本法，http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm，2011

3）文部科学省；スポーツ基本計画，http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm，2012

4）山口県；スポーツやまぐち　きらめきプラン，http://www.pref.yamaguchi.jp/gyosei/common-files/kyoiku/sp_plan/plan.htm，2001

5）周南市；元気しゅうなんスポーツプラン，http://www.city.shunan.lg.jp/mpsdata/web/2851/keikaku.pdf，2007

6）宇部市；スポーツ振興に関する計画，http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kyouyou/sports/keikaku/index.html，2011

7）山口市;山口市民のスポーツ活動に関するアンケートご協力のお願い，http://www. city.yamaguchi.lg.jp/cms-sypher/open_imgs/info/0000009106.pdf、2012

8）山口市；山口市スポーツ推進計画骨子（案），http://www.city.yamaguchi.lg.jp/cms-sypher/open_imgs/info/0000014712.pdf，2012

9）萩市福祉政策課；萩市健康福祉計画の改訂，http://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/detail.html?lif_id=33589，2012

10）萩市総務部財政課;平成 24 年度萩市当初予算の概要，http://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/detail.html?lif_id=1705，29，2012

11）山口市；第 3 回山口市スポーツ推進計画策定委員会会議録，http://www.city.yamaguchi.lg.jp/ cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=5522，2012

12）三原市；スポーツ振興計画，http://www.city.mihara.hiroshima.jp/bunspo/keikaku/keikaku19.html，2007

13）美浜町教育委員会，日本福祉大学スポーツ教育センター；平成 21 年度美浜町民及び児童・生徒の運動・スポーツに関する実態調査，2010

14）南魚沼市；スポーツに関するアンケート調査，http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/soshiki/shakai-kyoiku/sports.html，2011

15）森浩寿；日本におけるスポーツ法の系譜，現代スポーツ評論，26：152-161，2012

16）日本体育協会;「スポーツ新世紀」の国民体育大会－改革と変化の流れに乗って，Spors Japan，3：8-10，2012

17）山口県；山口県スポーツ推進条例，http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a11200/suisin/sjourei.html，2012

18）山口県；山口県スポーツ戦略プラン，http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a11200/suisin/senryaku.html，2012

19）萩市：萩市スポーツ推進計画（仮称）の策定について，第 1 回萩市スポーツ推進計画策定委員会資料、2012

Creation of Questionnaire about Sporting Activities Aimed at Sport Promotion Planning in Hagi City, Yamaguchi Prefecture

Morifumi MURAMOTO　Ryoji FUJIWARA　Maki YAMANE

The purpose of this study was to create the questionnaire about sporting activities for devising the sport promotion plan in Hagi city. We compared questionnaires that were carried out in other areas. The areas compared were Shunan city, Ube city and Yamaguchi city, Yamaguchi prefecture, Mihara city, Hiroshima prefecture, Mihama town, Aichi prefecture, and Minamiuonuma city, Niigata prefecture. We looked at that the name of the investigation, investigators, investigation periods, subjects (including age), examination methods, number of replies (number of male and female), percentage of replies, number of questions, number of questionnaire sheets, and the contents of the questionnaire. As a result, we proposed the following:

・investigation name; sporting activities investigation in Hagi city,
・investigators; Hagi city,
・investigation periods; November 2012,
・subjects; 1500 general adults in Hagi city who are over 20 years old,
・examination methods; postal,
・number of questions; 33,
・number of questionnaire sheets; 8,
・questionnaire contents; 12 fields that cover information of the respondents and Sport Promotion Planning.